

小学校給食での米飯の提供の中止について（第2報）

1 概要

令和元年6月10日の給食で提供を予定していた米飯について、米飯製造業者が米飯を製造終了後、スチーム式コンベア炊飯機を清掃・点検した際に、米を浸すためのお湯の槽の横にネズミ（1匹）の死骸を発見しました。一部の学校へ米飯の納入を中止しましたが、既に納入した1校の回収が間に合わず、70人の児童が米飯を口にすることが判明しました。

2 提供が出来なかった学校数及び児童数（教職員は除く）

学校数：給食実施校 全351校のうち、153校（76,950名）

※このうち1校の70人の児童が米飯を口にしました。

(内訳)

学年	人数
6年生	27人
5年生	8人
4年生	1人
3年生	26人
2年生	2人
1年生	6人
合計	70人

3 口にした理由

公益財団法人よこはま学校食育財団から全校にFAXを送るとともに、当該財団と教育委員会から電話連絡をしましたが、学校への連絡が、給食開始の時間間際になってしまったことと、当該学校では、委員会活動等で早めに給食を食べたり、既に配食されていたクラスもあったため、食べ始めていました。

4 口にした児童について

現時点で、健康被害の報告はありません。

お問合せ先		
横浜市教育委員会事務局健康教育課長	植村 一人	Tel 045-671-3234
(公財)よこはま学校食育財団事務局長	鈴木 光敏	Tel 045-662-2541